



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.817 2012年1月16日

ARIBからのお知らせ

第83回規格会議開催のお知らせ

次回の第83回規格会議の開催日をお知らせいたします。  
規格会議委員の皆様のご出席をお願いいたします。

記

- 1 日時 平成24年2月14日(火) 午後2時から4時まで
- 2 場所 東海大学校友会館 朝日東海三保の間 (霞が関ビル35階)  
東京都千代田区霞が関3-2-5
- 3 議案(予定)
  - (1) 構内無線局920MHz帯移動体識別用無線設備標準規格の策定について
  - (2) 特定小電力無線局920MHz帯移動体識別用無線設備標準規格の策定について
  - (3) 920MHz帯テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備標準規格の策定について
  - (4) 700MHz帯高度道路交通システム標準規格の策定について
  - (5) IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report の改定について
  - (6) IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report の改定について
  - (7) OFDMA Broadband Mobile Wireless Access System (WiMAX™ applied in Japan) ARIB STANDARD の改定について
  - (8) OFDMA/TDMA TDD Broadband Wireless Access System (Next Generation PHS) ARIB STANDARD の改定について
  - (9) 700MHz帯高度道路交通システム陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験条件技術資料の策定について
  - (10) 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料の改定について
  - (11) BS/広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料の改定について
  - (12) セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定技術資料の改定について
  - (13) その他

## 第 23 回電波功績賞表彰候補者の推薦募集について

当会では、電波の有効利用に関する調査、研究、開発において画期的かつ具体的な成果を挙げられ、又は電波を有効に利用した新しい電波利用システムの実用化に著しく貢献された部外の個人若しくは団体に対して、電波功績賞を授与し、又は贈呈して表彰することといたしております。（詳細は別紙 1 のとおりです。）

第 23 回電波功績賞表彰式は、平成 24 年 6 月に開催を予定している定時総会の日に合わせて執り行う予定としております。

つきましては、電波功績賞の表彰するべき者としてふさわしい個人又は団体につきまして、別紙 2 の電波功績賞表彰候補者推薦書にご記入の上、平成 24 年 3 月 8 日(木)までに、ご推薦下さいますようお願い申し上げます。

なお、電波功績賞表彰候補者推薦書は、電子メールでご返送いただきますようお願い申し上げます。

別紙 1 及び別紙 2 については、[当会ホームページの「お知らせ」](#)をご参照ください。

## ARIB 電波産業年鑑 2011 のアンケートご協力をお願い

当会が発行する電波産業年鑑 2011 は、2011 年 11 月末に会員の皆様等に送付しています。本年鑑を一層ご活用いただくよう、内容の充実を図るために参考資料といたしたくアンケート用紙を同封しておりますので、是非ともご協力賜りたくよろしくお願いたします。

アンケート用紙は本誌の最後のページに添付されています。また、付録 CD-ROM にも収録されており、当会の[ホームページ](#)からもダウンロードできます。

### ARIBの動き

## ARIB 機関誌 No.76 発行のお知らせ

ARIB 機関誌 No.76 を 1 月 13 日付にて発行いたしました。

本号の内容は以下のとおりで、「新年のごあいさつ」をはじめとしまして、4 件のトピックスを掲載しております。

「ARIB 活動報告」では、2011 年 10 月から 11 月末までの活動期間の報告に加えて、電波産業年鑑 2011 の発行及び「CEATEC JAPAN 2011」ARIB 出展報告を掲載しました。

### 【新年のごあいさつ】

一般社団法人電波産業会	会長	片山 幹雄
総務省情報流通行政局	局長	田中 栄一
総務省総合通信基盤局	局長	桜井 俊

## 【トピックス】

WiMAX の技術動向

KDDI 株式会社 技術開発本部 標準化推進室 標準戦略グループリーダー

篠原 正

時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の無線局の無線設備

(ARIB 標準規格 STD-T101)

パナソニック株式会社

パナソニック システムネットワーク株式会社 プラットフォーム開発センター

武久 吉博

テレビとヘルスケア機器との連携 ～テレビにおけるフェリカリモコンの取り組み～

ソニー株式会社 コンシューマプロダクツ&サービスグループ

ホームエンタテインメント事業本部 ホームエンタテインメント開発部門 3 部

統括部長 宮原 秀彰

ソニー株式会社 プロフェッショナル・デバイス&ソリューショングループ

プロフェッショナル・ソリューション事業本部 FeliCa 事業部

プロダクト&サービス部 統括部長 坂本 和之

日立国際リネアール社の誕生

株式会社日立国際電気 執行役 南米ビジネス推進担当

日立国際リネアール社 Presidente 木村 茂

## 【ARIB 活動報告】

電波の利用に関する調査、研究及び開発

電波産業年鑑 2011 の発行

「CEATEC JAPAN 2011」ARIB 出展報告

電波利用システムの調査研究

電波利用システムの研究開発

高度無線通信研究開発

電磁環境調査研究

コンサルティング及び普及啓発

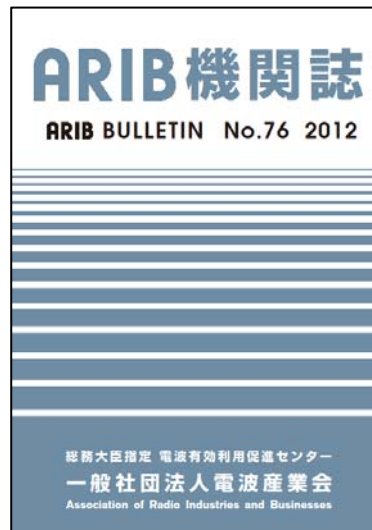
標準規格の策定

委員会報告

ARIB 日誌

出版物一覧

事務局の現状、事務局だより



ARIB 機関誌電子版を「ARIB 会員のページ」の「ARIB 機関誌」に掲載しておりますので、ご活用ください。

なお、ID・パスワードが不明の方は ARIB 会員連絡窓口までお問い合わせ下さい。

大規模災害等緊急事態における通信確保の在り方  
－最終取りまとめの公表－

【平成 23 年 12 月 28 日の総務省報道資料から】

総務省は、平成 23 年 4 月から「大規模災害等緊急事態における通信確保の在り方に関する検討会」（座長：桜井 俊 総務省総合通信基盤局長）を開催し、緊急事態における通信手段の確保の在り方について検討してきました。

平成 23 年 12 月 27 日開催の第 8 回会合において、「大規模災害等緊急事態における通信確保の在り方」についての最終取りまとめを行いましたので公表します。

また、本取りまとめに当たって実施した意見募集の結果についても併せて公表します。

1 経緯等

総務省では、緊急事態における通信手段の確保の在り方について検討することを目的として、平成 23 年 4 月から「大規模災害等緊急事態における通信確保の在り方に関する検討会」を開催してきました。

平成 23 年 11 月 28 日開催の第 7 回会合において、最終取りまとめ（案）を取りまとめ、12 月 1 日から 14 日までの間、意見を募集したところ、計 14 件の意見提出がありました。

その結果等を踏まえ、平成 23 年 12 月 27 日開催の第 8 回会合において「大規模災害等緊急事態における通信確保の在り方について」を取りまとめましたので、公表します。

2 最終取りまとめ

最終取りまとめは別紙 1 のとおりです。

また、最終取りまとめ概要は別紙 2、参考資料は別紙 3 のとおりです。

3 意見募集の結果

提出された意見及びこれらに対する総務省の考え方は別紙 4 のとおりです。

なお、提出意見については、総務省ホームページ (<http://www.soumu.go.jp>) の「報道資料」欄及び電子政府の総合窓口[e-Gov] (<http://www.e-gov.go.jp>) の「パブリックコメント」欄に掲載するとともに、総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課（東京都千代田区霞が関 2-1-2 中央合同庁舎 2 号館 10 階）において閲覧に供することとします。

関係報道資料

- 「大規模災害等緊急事態における通信確保の在り方に関する検討会」の開催（平成 23 年 4 月 7 日）

URL:[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01kiban02\\_01000018.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban02_01000018.html)

- 大規模災害等緊急事態における通信確保の在り方について中間取りまとめの公表（平成 23 年 8 月 2 日）

URL:[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01kiban02\\_01000027.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban02_01000027.html)

- 大規模災害等緊急事態における通信確保の在り方 最終取りまとめ（案）に対する意見募集（平成 23 年 11 月 30 日）

URL: [http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01kiban02\\_02000036.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban02_02000036.html)

デジタル放送システム開発部会  
データ符号化方式作業班 主任 武智 秀  
(NHK 放送技術研究所  
次世代プラットフォーム研究部 主任研究員)



データ符号化方式作業班主任の武智と申します。当作業班は、デジタル放送システム開発部会の下に設置されており、デジタル放送で用いるデータ放送符号化方式と伝送方式を規定することを目的とした標準規格「デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式」(STD-B24)のうち、データ放送のレファレンスモデル、モノメディア符号化方式、字幕・文字スーパー符号化方式を規定する第一編を所掌しています。また、データ放送で用いるデータ伝送方式を規定する第三編を多重化作業班と共同で所掌しています。私は、2004年より前任者から主任を引き継ぎ、デジタル放送サービスの多様化に対応するために文字符号化の体系や字幕の高機能化などのデータ放送関連規格の拡充を、皆様のご協力のもとにとりまとめさせて頂いております。

私とARIBとの関わりは、1999年にBSデジタル放送の標準化が始まった時、当時のXML方式作業班XMLサービスTG、高度XML-TGに委員として参加したことが最初です。参加委員の皆様の、広範にわたるデータ放送関連技術を駆使して標準化を成し遂げようという熱い思いに裏打ちされた議論が繰り広げられたことを鮮明に記憶しております。以来、データ放送に関連する様々なARIB規格の策定や放送国際標準化ワーキンググループでのITUでの国際標準化の対応に参加させて頂いておりますが、ARIBでの標準化は、今も変わらずに熱心な議論によって進められていると感じております。

2011年7月24日に、東北の岩手・宮城・福島の3県を除く44都道府県がデジタル放送へ移行しました。これによって、デジタル放送は1つの節目を迎えましたが、デジタル放送は今後も通信との融合など高機能化への努力が続いていくことと思われまます。その中でデジタル放送関連の諸規格を策定してきたARIBは重要な存在であり、私も、皆様のお力添えをいただきながら、ARIBの標準化活動に貢献できるよう努めていきたいと考えております。

今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<http://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)